

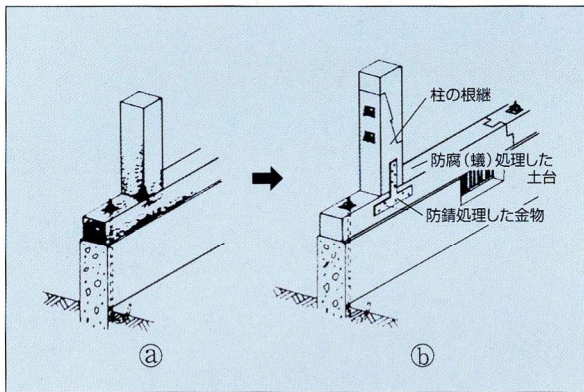
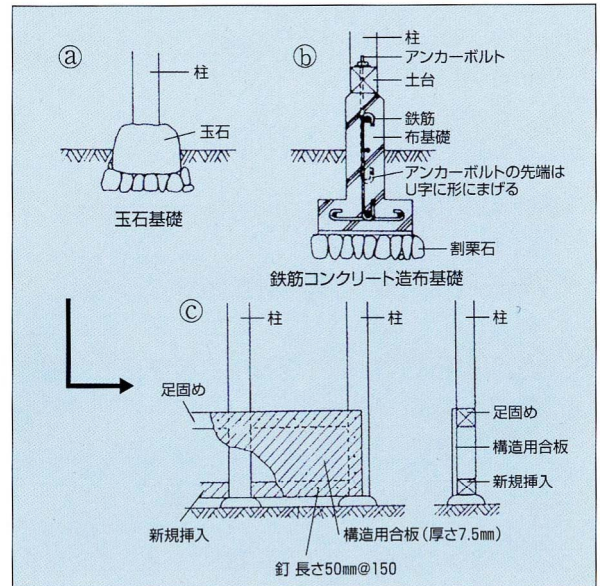
5 木造住宅の補強方法いろいろ

診断の結果はいかがでしたか！

安全と認められなかった場合には、専門家の診断を受け、早めに補強してください。

補強については、次のような方法がありますが、詳しくは専門家と相談して決めてください。

- 1 基礎は鉄筋コンクリート造の布基礎にします
玉石基礎などの場合は、鉄筋コンクリート造の布基礎に替え、これに土台をアンカーボルトで締めつけます。
 - a 玉石に束立てしただけの柱は、浮き上がったり踏みはずしたりして、建物が壊れることがあります。
 - b 鉄筋コンクリート造の布基礎を造りアンカーボルトをつけてください。
 - c 床下のあき、柱間隔などにより補強方法は異なりますが、従来の礎石式柱脚を固めます。



- 2 腐ったり、シロアリに喰われた部材は取替えます
 - a 特に、台所・浴室の近くや北側の土台まわりのように湿りがちのところは早く腐ります。
 - b 土台を取替え、柱は根継ぎして金物で補強してください。この時、防腐(防蟻)措置を忘れてはなりません。

- 3 土台・柱・筋かいなどの接合は金物等を使って堅固にします
 - a ほぞ差しや胴付け、または釘止めだけの接合部は、抜けたり、はずれたりします。
 - b 柱と土台は金物等でしっかり結びつけてください。筋かいと柱(または土台、はり)は十分に釘または専用の金物でとめてつけてください。

